

「新市まちづくり構想」とは？

この新市まちづくり構想は、久留米広域合併任意協議会の構成団体2市6町が合併した場合の、新市のまちづくりの基本理念や都市像、主要施策、さらには生活に密着したごみ処理や下水道、福祉などの行政サービスをまとめたものです。

合併は、50年、100年先を見据えたものでなくてはなりません。私たちの子ども、孫に誇れるふるさとを創りたいと考えています。

新市まちづくりの基本理念

新市のまちづくりは、次に掲げる4つの基本理念を柱に取組みます。

地域の特性を活かした都市づくり

個性をもった地域づくりのため、お互いの地域が機能を補完的に高めあい、多様な魅力を作り出す、地域の特性を活かした都市づくりをめざします。

中核市として地域をリードする都市づくり

地方分権型社会の先進的モデル都市＝中核市として、新時代の戦略に立った新たな発想のもとに、県南地域をリードする都市づくりをめざします。

住民主体のネットワーク型都市づくり

多様な地域個性を積極的に活かす発想をもつ住民が主体的に活動し、多様なネットワークを形成する都市づくりをめざします。

総合性と戦略性を基調とした都市づくり

限られた資源を有効に活かすため、各地域の状況と時代潮流を踏まえながら、総合的・戦略的視点を基調とした都市づくりをめざします。

新市がめざす都市像



1 緑に出会い、緑を感じ、緑を育て活かす都市

豊かで多様な自然と、そこで育まれる農林業、花・果実・樹木など様々な「緑」に囲まれ、人の五感全てを使って満喫しながら、新たな「緑」を活かした産業の創出、緑を通じた交流を追求します。

- 地域の人々に安全で美味しい「食」を提供していきます。
- 豊富な農林業資源を活かして「緑」をベースにした新たな(バイオ)産業を育成します。
- 豊かな緑と共生する快適な居住空間を整備します。



2 歴史と伝統に出会い、歴史と伝統を感じ、歴史と伝統を育て活かす都市

永年にわたる人々の営みによって継承されてきた「歴史と伝統」に触れ、豊かな「ふるさと」を体験し、新時代の「歴史と伝統」を活かした交流を追求します。

- 地域文化による豊かな暮らしを展開するため、歴史や伝統を支える人材を育成します。
- 伝統技術や技法を活かして時代にあった新商品やふるさと特産品を生み出します。
- 歴史と伝統を活かした都市との交流を促進します。



3 人の笑顔に出会い、人のやさしさを感じ、人の知恵を育て活かす都市

地域づくりの源である「人」が、生涯を通じて自己の能力・やさしさ・魅力を表現し交流する機会を演出し、地域社会の未来と発展を担う「子ども＝人」の育成に努めます。

- 人がもっている能力、経験を生かして参加・参画できる社会づくりに取り組みます。
- 人と地域の魅力を高めるため、多様な分野の教育・研究機関などの集積を図ります。
- 人の知恵を活かした産業を創出します。